

仕様書 別紙1. システム機能追加・改善の内容

No.	項目	見直しの観点	主な業務要件	業務要件(詳細)	対象となる画面・帳票等の想定数	区分
1	1. 業務実態面の変化等に対応した機能追加等	平成30年度に始まった「再チャレンジ支援」など新規業務への対応や、システム利用者から新たに求められているシステム対応のための機能追加・改善を図る。	1.新たに始まった「再チャレンジ支援」等、経営者保証ガイドラインに沿った支援に該当する情報を入力し、支援段階別、月別、年度別での検索・集計・出力する機能を追加する。各画面の関連性に不適合を起こさないようにする。その他、業務上システム利用者から新たに月例で出力する各様式帳票の精査にかかる負荷を軽減するための機能を追加する。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	現状、協議会システムが本格稼動する以前の累計値(2018年03月の累計値)を保持していないため、様式1及び様式2の累計値を各協議会で正しい値に入力している。毎月、正しい値を表示させるため、様式1及び様式2の各月初欄の集計で、2018年03月時点の累計値をテーブルに保存し、その累計値を足しこんで各月初欄の数値を求めるようにする。 また、様式2下段の公表へ振替は、「公表待ち」行も、「公表済」行と同様に、当月に2次対応完了入力画面で「F策定完了」となったデータを集計するように変更する。	対象帳票: 2	相談受付状況報告書(様式1) 相談対応状況報告書(様式2)
2				「経営者保証に関するガイドラインの活用状況」の「窓口相談(一次対応)中」欄及び「二次対応中」欄を出力年月のto(検索期間の末日)時点での残高件数(ストック)で表示するようにする。	対象帳票: 1	経営者保証に関するガイドラインの活用状況表
3				再生計画策定支援案件の進捗状況一覧(様式3)の各項目が表示されない場合ある。各様式の入力状況に応じてデータ編集方法を見直し、プログラムの修正を行う。	対象帳票: 1	様式3:再生計画策定支援案件の進捗状況一覧
4				再生計画策定支援案件の進捗状況一覧(様式3)の「進捗状況」に、2次対応が終了した案件にはその旨の表示をするようにする。	対象帳票: 1	様式3:再生計画策定支援案件の進捗状況一覧
5				経営者保証ガイドラインに関するデータについて、データの初期登録(移行)を実施できるようシステムの見直しを行う。	処理機能追加	
6				再生計画策定支援案件の進捗状況一覧(様式3)を出力する際、協議会システムの稼動開始時点(2018年03月末時点)の過去データも併せて表示するようにする。	対象帳票: 1	様式3:再生計画策定支援案件の進捗状況一覧
7				相談対応状況報告書(様式2)の「2次対応(策定支援中)」の「月初」と「当月発生様式5作成」欄の集計方法として、様式4が「対応完了ー2次対応」で承認されていると、様式5が未作成であっても作成されたものとみなして集計している。この「月初」欄と「当月発生 様式5作成」欄は、様式5のデータそのものを集計するように変更する。	対象帳票: 1	相談対応状況報告書(様式2)
8	2.業務上の新たなニーズとして、常駐専門家の情報を入力でき、中小企業庁はじめ、特定の担当者が直接その情報を取得できる機能を追加する。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	常駐専門家マスタのCSVダウンロードしても全ての項目が対象になっていない。即ち、ある専門家が現在常駐しているのか退任したのかが分からない状況である。毎月の常駐専門家の状況(常駐しているか、していないか)を把握できるようにシステム改修を行う。	対象画面: 1 対象帳票: 1	常駐専門家マスタ確認登録画面 専門家配置状況		
9			3.「業種名」「持ち込み経路」等の項目が未入力であると集計数などの整合性や各種帳票出力に支障を来すため、入力時の未入力に対するチェック機能等を追加する。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。 現在の各様式の画面では、「業種名」、「持込経路」については未入力でも何ら警告メッセージを出力することなくシステムへの登録が出来てしまう。そのため、様式1の合計件数が正しくカウントされない状況になっている(各協議会にて様式1に対して正しい数値を入力している状況。その上で全国本部に報告(メール)している)。この状況を避けるため、「業種名」、「持込経路」が未入力の場合には、承認又は承認申請時に警告メッセージを表示するようにする。また、未入力のままシステム登録した場合には、様式1の「その他」又は「不明」にカウントするようにする。	対象画面: 9 対象帳票: 1	事業者マスタ確認登録画面 金融機関事前相談入力画面 1次対応入力画面(様式4) 2次対応開始入力画面(様式5) 2次対応完了入力画面(様式6) 2次対応終了入力画面(様式7) 計画再策定入力画面(様式8) 計画修正入力画面(様式9) モニタリング入力画面 相談受付状況報告書(様式1)	
10	4.複数債権者を有する再生支援案件の増加に対応するため、事業再生相談業務で持込金融機関を複数管理できるよう機能改善を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	現状のシステムでは、持込金融機関を1つしか管理できないが、4つまで管理できるようにする。そのため、各様式の画面及びEXCEL出力したときの帳票を修正する。また、DB検索・集計から出力する各様式の帳票、金融機関別対応状況表も修正する。	対象画面: 9 対象帳票: 10	金融機関事前相談入力画面 1次対応入力画面(様式4) 他、あり 金融機関別対応状況		
11	2. 業務効率化、時間短縮化につながる機能追加等	システム稼動後に顕現し、確認できた事象、課題等に対し、業務効率化、時間短縮化を可能にする機能追加・改善を図る	1. フォローアップ調査画面にモニタリング入力画面で入力する「計画遂行状況」情報を出力できる機能や、モニタリング入力画面で支援策の選択で大項目と小項目で不整合項目を選択できないあるいは選択を促す機能を追加するなど、各マスタ画面帳票において、正確な入力に誘導する機能追加・改善を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	モニタリング入力画面で財務実績の評価が「5:決算期末到来」を選択している場合、フォローアップ調査結果は「フォロー継続A」のみ選択可とする。かつ、その場合は回数としてカウントしない。 また、フォロー継続Aの場合、モニタリング対象事業年度を翌年も同じ年度を入力するので、入力チェックでエラーとならないようにする。	対象画面: 1 対象帳票: 1	案件進捗管理画面 モニタリング入力画面
12			事業者マスタ確認登録画面に「登録年月日」欄と「更新年月日」の表示欄を追加する。また、事業者マスタ検索画面の検索条件に、この2項目を追加する(検索結果にもこの2項目を表示する)。	対象画面: 1	事業者マスタ確認登録画面	

仕様書 別紙1. システム機能追加・改善の内容

No.	項目	見直しの観点	主な業務要件	業務要件(詳細)	対象となる画面・帳票等の想定数	区分
13				フォローアップ調査表の「計画遂行状況の把握」にモニタリング入力画面で入力した値を表示するようにする。 また、同項目において、フォローアップ調査表とモニタリング入力画面の表記を異なるので統一する。	対象画面: 2 対象帳票: 1	モニタリング入力画面 DB検索・集計画面 フォローアップ調査表
14				フォローアップ調査表の「(4)計画ー第二会社or直接放棄」欄に、モニタリング入力画面の「(4)第二会社方式・・・」の「分割・譲渡+清算」「直接」の選択結果を出力するようにする。	対象帳票: 1	フォローアップ調査表
15				DB検索・集計で、フォローアップ調査表を出力する際、検索条件項目として「フォローアップ完了日」を追加する。	対象画面: 1 対象帳票: 1	DB検索・集計画面 フォローアップ調査表
16				2次対応完了入力画面(様式6)において、協議会システム稼動以前の様式に存在していた「③事業体制の強化」下段にフリーの形式でコメントを入力できる欄を追加する。	対象画面: 1	2次対応完了入力画面(様式6)
17	2. 業務効率化、時間短縮化につながる機能追加等	システム稼動後に顕現し、確認できた事象、課題等に対し、業務効率化、時間短縮化を可能にする機能追加・改善を図る	1. フォローアップ調査画面にモニタリング入力画面で入力する「計画遂行状況」情報を出力できる機能や、モニタリング入力画面で支援策の選択で大項目と小項目で不整合項目を選択できないあるいは選択を促す機能を追加するなど、各マスタ画面帳票において、正確な入力に誘導する機能追加・改善を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	各様式の画面で、DDSの有担保、無担保がどちらか一方の選択になっている。これを両方選択できるように変更する。	対象画面: 5 対象帳票: 4	2次対応開始入力画面(様式5) 2次対応完了入力画面(様式6) 計画再策定入力画面(様式8) モニタリング入力画面 DB検索集計画面 2次対応開始帳票 計画再策定帳票 2次対応完了帳票 モニタリング帳票
18			2. 「30分」と設定したVPN装置の無通信時の自動切断時間、アプリケーションのセッションタイムアウト時間を、多数のシステム利用者からの要望を受け「60分」に変更するなど利便性・操作性を向上させる機能改善を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	各様式の画面の財務内容や損益推移等欄の入力は、期単位(年月)どとに入力する。即ち、入力は縦方向に入力するが、現在の画面では、TABキーを押下すると水平方向にカーソルが移動し、そのたびにマウス操作で該当に項目をクリックしなければならぬ。短時間で入力するためにも、TABキーを押下したときには縦方向に移動するようにする。	対象画面: 6	金融機関事前相談入力画面 1次対応入力画面(様式4) 2次対応開始入力画面(様式5) 2次対応完了入力画面(様式6) 計画再策定入力画面(様式8) モニタリング入力画面
19				協議会システムの操作について、30分間サーバとの通信がないとセッションタイムアウトとなり、入力中のデータが全て失われてしまう。各様式の入力にはそれなりに時間がかかり、入力中のデータが失われてしまうケースが多々発生している。このような事象に対応するため、セッションタイムアウトになる時間を延長する。	処理機能変更	画面制御
20			3. 財務に関する項目で、自動計算機能の対象項目を増やし、入力にかかる時間短縮を図るなど、システム利用者の利便性を向上させる機能改善を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	各様式の画面にある「自動計算」ボタンの対象項目を増やし、入力操作の利便性を図る。対象項目は以下の通り。 ・営業利益 ・信用残	対象画面: 4	2次対応開始入力画面(様式5) 2次対応完了入力画面(様式6) 計画再策定入力画面(様式8) モニタリング入力画面
21				2次対応終了入力画面の相談持込ルート表示欄を削除する。	対象画面: 1 対象帳票: 1	2次対応終了入力画面(様式7)
22			4. 事業実績資料の作成等の活用ニーズ等に対応するため、都道府県毎の実績一覧データを出力できるようにするなど機能追加を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	ポータル画面の下段に各都道府県の実績値を表示しているが、月が変わると前々月の実績値が表示されなくなってしまう。これを補う機能として、表示している実績をCSVデータに保存できるように機能追加を行う。実績一覧の全国計に前月実績行を追加するとともに、所属組織、全国計について、年度指定による実績表示を行えるようにする。	対象画面: 1 対象帳票: 1	ポータル画面
23			5. 利用頻度の高い案件進捗管理画面において、繰り返し操作する場合に直前の検索履歴情報を保持する機能追加を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	案件進捗管理画面にて検索条件を設定し、その後の操作で他の画面(例えば、様式4の画面)に進み、「戻る」ボタンで案件進捗管理画面に戻るが、直前に設定した検索条件が消去されているため、毎回検索条件を設定しなければならない。操作する上で非効率であり、直前に設定した検索条件を保持するように改善する。	対象画面: 1	案件進捗管理画面
24			6. 今後データ量が増加した際のシステムの動作速度への早めの対策として、パフォーマンスの低下防止のための機能を追加する。各画面の関連性に不適合を起こさないようにする。	今後データ量が増加した際のシステムの動作速度への早めの対策として、パフォーマンスの低下防止のための機能を追加する。各画面の関連性に不適合を起こさないようにする。	対象画面: 1	
25	3. システム上のフローと業務フローの不整合に対する機能改善等	システム稼動後に顕現し、確認できた実務の流れとシステム上の様式への入力の流れの相違について、業務フローとの不整合を生じていることなどを解消するための機能改善を図る。	1. 各協議会における一次対応(窓口相談)時において、二次対応に進む可能性がある案件は、二次対応開始報告書(様式5)に記入する内容の相談内容をヒアリングしているため、一次対応カルテ(様式4)の入力～上長確認後に(様式5)の入力を開始できる設定にした現状のシステム設計を同	アンケート対象リスト(外部専門家リスト)の出力条件に、「全国本部確認済」であるという条件があるが、その条件をはずし、2次対応完了入力画面で承認状態になっている案件を抽出対象とするように変更する。	対象帳票: 4	アンケート対象リスト(外部専門家リスト)

仕様書 別紙1. システム機能追加・改善の内容

No.	項目	見直しの観点	主な業務要件	業務要件(詳細)	対象となる画面・帳票等の想定数	区分
26			時に入力できるようにする等の機構改善を図る。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	①協議会によっては、様式4の「対応完了ー2次対応」の承認を得るには、事務手続き上、様式5が前提になっているところがある。そのため、様式4の承認を得る前に様式5を入力する必要がある。②しかし、現在の協議会システムでは、様式4の承認を得ないと様式5のデータ入力が出来ない。①の事務手続きと平仄を合わせるようにシステムの操作フローを見直し、システム改修を行う。 2次対応開始入力画面(様式5)で対応ステータスを「策定支援完了へ」を選択して承認しなくとも2次対応完了入力画面(様式6)を入力できるようにする。 また同様に、様式5「の対応ステータスを「策定支援終了へ」を選択して承認しなくとも様式7を入力できるようにする。	対象画面:3	1次対応入力画面(様式4) 2次対応開始入力画面(様式5) 2次対応完了入力画面(様式6)
27			2.入力間違いの場合等で前ステージのデータ修正が出来るようにし、それに伴う前ステージと次ステージでの関係日付等をチェックする機能を追加する。各画面・帳票の関連性に不適合を起こさないようにする。	1次対応入力画面(様式4)の開始日と完了日が、本来異なるはずにも係わらず同じ日付になっているデータが存在する。そのようなデータで2次対応開始入力画面(様式5)でデータ登録をしてしまうと、様式4の開始日と完了日を修正できなくなってしまふ。このような状況では様式2が正しく表示されない。これに対処するため、様式5のデータ入力を開始していても様式4の開始日と完了日を修正出来るようシステムのコントロールを変更する。	対象画面:1	1次対応入力画面(様式4)